

# 八王子支部ニュース

八王子支部メールアドレス hachioji-tu@nifty.com

八王子支部ホームページ <https://tokyoso-hachioji.com/>



2020/10/6  
NO. 10  
都教組八王子支部  
042(623)1141

## 「2つの署名」で少人数学級 早期実現へ!

私たちが長年運動してきた少人数学級。コロナ禍を受けて、政府側の動きが相次いで報道されています。8月の中教審は「中間まとめ骨子」で「身体的距離の確保に向けて…少人数編成など整備を図る」と明記。9月に政府の教育再生実行会議は「少なくとも早期に30人以下、できれば20人を」。自民党の教育再生実行本部は「30人学級の取り組みを段階的かつ計画的に進めるため来年度予算で検討」。

ここまで、すぐにでも少人数学級が実現するかに見えました。しかし、文科省の具体的な提案は、あっさりトーンダウンしています。「来年度から公立小中学校の全学年を[30人学級]にした場合、教員を8万~9万人増やす必要がある。10年かけて段階的に移行すれば、少子化で生じる余剰人員などでほぼ対応できる」。実現の裏付けになる来年度予算概算要求では、金額を示さない控えめな要求しかしていません。

そんな中、9/24(木)の八王子市議会では「少人数学級を求める意見書」を全会一致で可決しました。長年の私たちの運動の成果によって今、少人数学級実現にむけて大きく動き始めています。

この動きを国として責任をもって前進させるために、文科省のおしりをたたいてあげましょう。「もっと強く!もっと早く!」そのために、次の2つの署名を進めましょう。

1. 教育研究者呼びかけの、「少人数学級」に絞って要求する署名。11月中。
2. 例年の「ゆきとどいた教育」署名。11月中。

同時進行でも、取り組む時期を変えても、工夫して、職場から、地域から、署名でみんなの声を届けましょう。

### 異動について

ピンクカードは10/23(金)までに支部必着で提出をお願いします。

### 都労連 対都賃金確定闘争 批准投票は10/22(木)までに支部へ

10月末から11月中旬にかけて、来年度の賃金や待遇について都側と組合側の折衝が始まります。月例級はここ数年賃上げされていません。そして、一時金の賃上げは業績評価が反映される勤勉手当で実施され、全職員に反映されるものではありません。(勤勉手当には成績率が導入されているため。)

私たちの下記の要求を実現させるため東京都で働く都教組以外の組合団体が団結して折衝を続けます。組合は全教職員の支持のもと要求実現を目指します。

- 暮らしを支え、安心して教育に打ち込める賃金引上げを!
- 1年単位の変形労働時間制導入阻止、長時間過密労働解消、職員定数大幅増、持ち時数縮減、業務削減を!
- あらゆるハラスメント根絶!
- 会計年度任用職員の雇用確保、報酬・処遇改善を!
- 無年金期間にふさわしい再任用職員の給与水準改善、再新希望者全員の雇用を!
- 条件付採用教職員及び期限付任用教員全員の正式採用を!
- 教育を壊す職責・能力・業績主義強化反対、人事構想制度の抜本的見直しを! ...など